

これはWinActorが目指す自動化の世界。

人とロボットとが協働し、AIなどの高度な技術を組み合わせることで
人の仕事は、よりクリエイティブに、よりスピーディーに進化します。
そして、社会全体もサプライチェーンのDXや自動化が広がっていきます。

**すぐそこにある働き方の未来化、
それは誰もがクリエイティブに力を発揮し、働くことがワクワクできる世界です。**

業務の自動化から
働き方の未来化へ

採用企業6000社を突破!!

※2021年1月時点の導入社数

1 既存のシステムに手を加えず、PC1台から導入可能

これまでお使いの業務システムや基幹システムを大きく変更する必要なく、スムーズかつスピーディーにWinActor®を導入いただけます。ご利用はPC1台、1ライセンスから承っております。

2 日本企業のワークフローにフィットしたNTTのRPA

完全日本語対応の純国産製品で、日本企業でよく使われるマクロ入りエクセルデータにも対応しており、業種・業態を問わずさまざまな場面でご活用いただけます。また、万全のサポート体制も整えています。

3 さまざまなケースの入出力処理にも柔軟に対応

たとえば「DBサーバー上の住所リストを元にWebオンラインマップを開き、その地図画像をMSワードの作業指示書へ挿入後、サーバーへアップ」など、アプリの種類を問わず、連携した自動化ができます。

[導入プロセス]

評価

現行の業務プロセスを洗い出し
人の判断の有無で整理

導入

整理された業務プロセスに
適した自動化シナリオを作成

運用

作成シナリオを実際の利用環境で動作
必要に応じてシナリオの保守・修正

[Ver. 7.2 新機能]

<初心者から上級者までレベルに合わせたシナリオ開発環境>

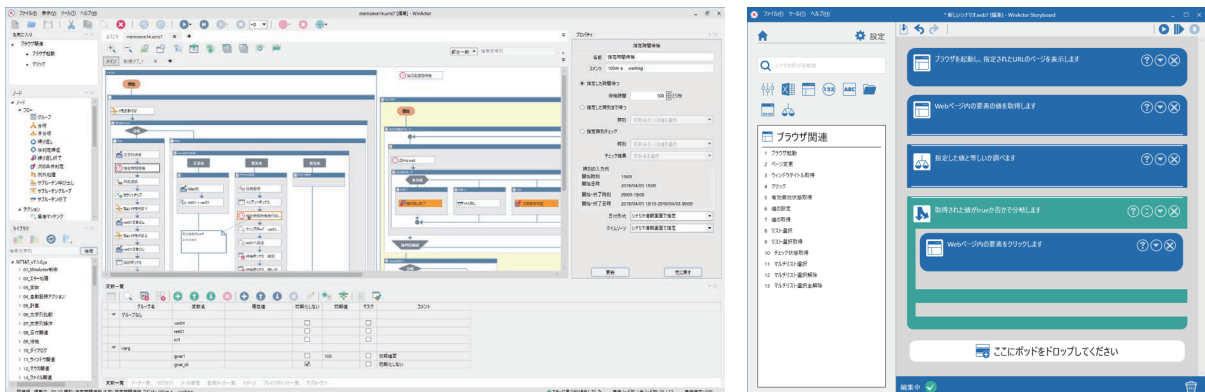
- 標準エディタ
フローチャートによる開発環境
- 上級者プログラマー向け “WinActorScenarioScript”
WinActor専用のプログラミング言語による開発環境
- 初心者向け ノーコードエディタ “WinActor Storyboard”
直観的な操作でシナリオ作成できる、全く新しい開発環境

<WinActor Brain Cloud Library>

1,600種類以上のライブラリから必要なものを検索し簡単にシナリオに組み入れることが可能です。また、最新バージョンのWinActorへのアップデートも容易に可能です。

<オブジェクト認識機能および自動記録モードの充実>

Microsoft UI Automationを利用したオブジェクト認識およびChromium版Microsoft Edgeの自動記録モードに対応



※ 詳細については下記の公式サイトにてご確認ください。トップページ > WinActor®を知る > WinActor® Ver.7 機能紹介

お問い合わせ

<https://winactor.biz/>



※記載された社名、各製品名等は、各社の商標または登録商標です。※本カタログ記載の内容は予告なく変更することがあります。※カタログ記載内容 2021年3月現在